

路面電車とわがまち南国

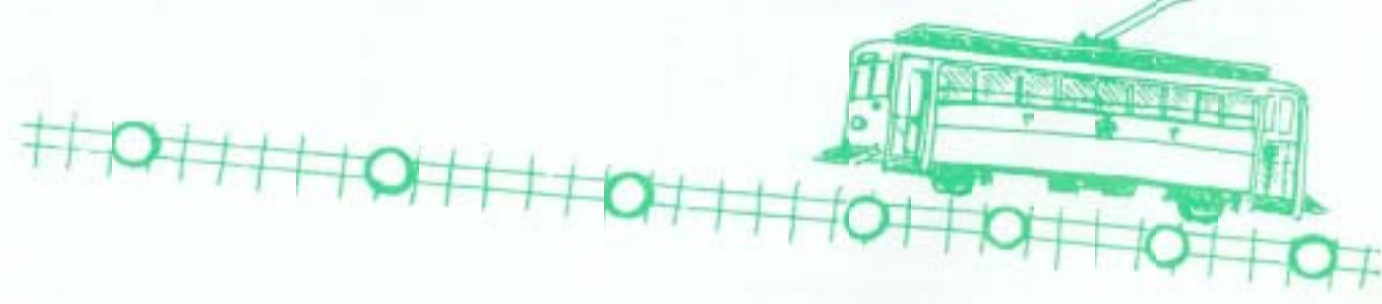


外国電車に乗ってみた

五月の薫風をいっばいに受けて、街をさっそうと走る外国電車。まほろばの里南国に異国情緒がただよう。日本広しと言えどもこんな光景が見られるのは、高知と広島だけ。遊び心にさそわれて、ノルウェー電車に乗ってみた。

外観だけじゃない。車内の雰囲気も最高。文字は英語で書かれていて、オーロラの地のノルウェーを連想させてくれる。リレハンメルオリンピックのポスターがはってある。もしかすると、萩原選手たちもノルウェーでは、この電車に乗ったのかもしれないと思ったりする。

自動車では味わえない、のんびりとしていて、なんとなく優雅なひととき。天気も五月晴れ。このまま伊野まで、小旅行してみたい気分になった。



電車のちょっといい話

吉本佳代さん (立田)

中学二年の夏、大橋通りから降りる電車で運よく座れてほっとしておりました。ところが雨が降りだし、窓から降りこもで私の首をぬらすようになりまして。窓を閉めようとおせりましたが閉まらず困っている。前に立っていた男子学生がだまって閉めてくれました。私は恥ずかしくて顔も上げられず、胸はドキドキして「ありがとうございます」の一言

さえ言えませんでした。電車といえは、あの時のことが心のこりで忘れられない思い出です。

鎌山理恵さん (大浦)

運よく「ノルウェー電車」に乗ったのは一年程前のこと。娘たちと、車内をウロウロキョロキョロした。床に足の届かないシートから、コンバスの大幅な差を実感して落ち込み、オーロラ画の天井に歓声をあげて首がすぐんでしまった。

窓にあるカーテンを「せせう」ときかれて、苦しまぎれに白夜の話で盛り上げた。森と湖の遠い国に、親子で旅をさせてもらったような素敵なひとときだった。

中島仁司さん (金地)

電車通学していましたが、高須あたりで急に止まってしまい、四・五人で押した記憶があります。それで動き出して乗って行きました。その頃は二輛連結の急行や準急もありました。今から二十五年前のなつかしい思い出。

西森律さん (大浦)

バスと違って座席が向かい合うので、乗りあわせた人を見渡し、まず知人がいないか捜します。景色をながめながら仲間の人とおしゃべりするのには楽しい。今の若い人の服装や髪型、持ち物、流行はどんなものか観察もできるのが電車のいいところです。お年寄りが、電車の料金が無料の日には後免から伊野まで乗って、保養センターでのんびりしてくるとい話を聞いたことがあります。ちょっといい電車の旅ですね。

別役雅子さん (大浦)

朝一番電車を目を覚まし、小学卒業と同時に高知市へ通学。通勤。最終電車の音と聞いて一日の終り、私の人生は電車と共にあって言い表わせ



天井一面にオーロラが描かれている

ないほど電車が大好きです。ちよつと注意だった高校生が、ある日赤ちゃんを抱いてやさしいママさん振りをみせてくれたり、懐かし方に突然お目にかかったり、車窓からの景色の移り変わり、暑い日、寒い日、ストの日など思い出は語りつくせません。皆さんも電車通勤をしてみたいものですよ。

池添千枝子さん (岡豊町)

神奈川にいる小学校一・二年だった孫が夏休みに帰省し

ました。いつも車ばかりなので電車に乗って高知へ行ってみました。稲刈りが空から見えるし、トラクターの前後にしろさがいるのを見て、どうしているのと同じく、えさをさがしているのと同じく



上手にとびまわり走っているのね、とびつくりしています。列ってない田んぼの稲穂もあるし、学校も見たりでちゃん電車といって大喜びでした。

また、七・八年前でしたか小学四・五年生の遠足の電車に乗りあわせました。窓から外を見ながらみんな大はしゃぎです。一人の生徒が「高知城東病院がある」と言ったのでびつくりして、「おばちゃん高知城東病院と読むじゃない」と言う。四・五人が「ぼくら高知城東病院と読む」と言いました。高知城が観光名所としてあまりにも名高いものだからかなと、おもしろく、子供から読み方を習ったような気がしました。



ノルウェー電車には、リレハンメルオリンピックのポスターが